

協力隊だより



発行者 氷見市地域おこし協力隊  
住所 氷見市轍川1060番地  
氷見市地方創生と自治  
への未来対話推進課内  
電話 0766 (74) 8013

## あけましておめでとうございます 協力隊員から新年のご挨拶

### 農業六次産業化担当

速川地区担当の澤田です。速川地区での活動もはや8か月になります。試飲会には、本川市長をはじめ多数のご出席を賜り、この法人速川活性化協議会の会員や地元の住民も交わり、大変に喜びやかなものとなりました。当日起きた秀逸の一品だと思いまして、試飲会には、本川市長をはじめ多くの来賓がスタートしたことでしょう。昨年より、原材料を福岡県で仕入れた秀逸の一品だと思いまして、試飲会には、本川市長をはじめ多くの来賓がスタートしたことでしょう。速川産のサツマイモを原料とした芋焼酎の販売がスタートしたことでしょう。速川地区の郷土料理につきましては、引き続きおもてなし部会と研究を重ねて、一般提供を目指すべく、レシピの作成や献立の構成を考えてまいります。個人的にも、近日中に手料理の提供できるスペースの確保を目標にしています。また、近日中に手料理の提供できるスペースの確保を目指したいと思います。(澤田)



インカ帝国の芋ヤーコンで作った  
キンピラ

ただけてホツとしております。速川地区の郷土料理につきましては、引き続きおもてなし部会と研究を重ねて、一般提供を目指すべく、レシピの作成や献立の構成を考えてまいります。個人的にも、近日中に手料理の提供できるスペースの確保を目指したいと思います。また、近日中に手料理の提供できるスペースの確保を目指したいと思います。(澤田)

インカ帝国の芋ヤーコン、自然薯の収穫を行い、現在貯蔵、付保管した芋を随時出荷作業やための戦略等を検討中です。サツマイモは、干し芋、焼き芋、焼酎にして販売中。干し芋は、柔らかく仕上げているので小さな入荷をしていますが、予想以上の状態が続いている状況です。ヤーコンは、芋で、デンブン質が少なく、サラダなどの生食でも食べられ、体によいとされています。速川では、氷見市内のインシヨップで、干し芋、ヤーコン茶(葉を乾燥させたもの)、自然薯の3種の芋を販売しています。皆様是非応援よろしくお願いします。(稻垣)

### まちづくり担当

あけましておめでとうございます。空き家対策や移住定住について担当している山下健太郎です。本年もよろしくお願ひいたします。去年は氷見に引っ越ししてきて、この土地ならではの人のつながりや文化の深さを感じることができました。街氷見に住む前には富山市の市街地で5年ほど暮らしていました

のですが、そこで知っていた付加価値を高めて販売するたためにマイモは、干し芋、焼き芋、焼酎をとにかく仕上げているので小さな入荷をしております。焼酎は、不定期ですが、グルメ博や地域の文化祭等のイベントで販売を繰り返しています。焼酎は、限定3000本で随时入荷をしていますが、予想以上の状態が続いている状況です。ヤーコンは、芋で、デンブン質が少なく、サラダなどの生食でも食べられ、体によいとされています。また、私が住んでいますので、もしそんな納屋があればご連絡ください。(山下)



納屋の修繕に向けた作業をしている様子

ベタな「富山うしさ」とよりもさらに濃密で面白い、氷見のそれぞれのまち、集落の良さを知ることができます。そこで、今まで多くの方々にご協力願いながらの歩みとはなりますが、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。(藤田)

新明けましておめでとうございます。氷見に来て早8ヶ月、北陸の四季を一通り体験できました。来年度はこのタネをしきたり組みにできたらと考えておられます。今日では自分たちが簡単に単に情報の発信者になることができます。地域づくりにおいても情報発信は重要です。しかし発信者である以上「伝わる」や愛をどのように表現し相手へ送り届けることができるのか、本年もそのお手伝いをさせていただければと思います。今一度、皆様方に更なるご協力をお願ひいたしまして、新年のご挨拶をさせて頂きます。(釜石)

あけましておめでとうございます。水見に来て初めての冬を迎えるました。朝の突き刺すような空気で布団から出るのに勇気がいります。漁師さんにお世話になつておらず、東京にいた頃は魚を食べていました。都市部では生産することのできない水産資源を供給してくれることに対する感謝もあります。やはり生産者と消費者、地方と都市のあいだにはまだまだ大きな壁がありますように思っています。僕は移住してきましたものとして、自然と人間の営みをすぐそばで感じられる喜びを感じながら、地方と都市、生産者と消費者交流がより一層広がるよう今年も努力していきたいと思います。(左座)



さわだ 典久

この法人速川活性化協議会では、速川地区で栽培したサツマイモを原料にしたオリジナル芋焼酎「白が峰」を発表しました。「黄金千貫(こがねせんがん)」

を福岡県八女市の後藤酒造にて醸造し、地域の期待を背負つた商品です。「非常に香り高く、現在3000本の限定商品として販売しておりますが、品薄の状態が続いている大変ご迷惑をおかけしております。ご注文はこの法人速川活性化協議会酒販部 080-5851-1200まで。



速川地区のさつまいもを使って作った  
本格芋焼酎「白が峰」

藤田 智彦

着任当初から携わっている市の空き家活用まちづくり事業もようやく一段落を迎えようとしています。今回の調査は対象が限られたものでしたが、そのエリアのほぼすべてを歩き、少ないながらもそこに住むひとたちの声を聞くことができました。ある地区で、大火の際自分の家のちょうど真ん中で火が消えたそうです。実際に見せてあげているものの、しっかりとそこには立っていました。水見のまちなかには、大火で多くの形あるものが失われました。もしか

するとその隣にはしっかりと残る「なにか」が他にもたくさん眠っています。こんな光景が、そしてその挿話を物語るひとがたくさんいるのなら、それはとても豊かな地域なのだと思います。



空家悉皆調査の様子

## 左座 紹介

水見では毎日のように美味しいものと出会えます。中でも一番よく食べているのは大漁鍋。その日獲れた値段の安い魚を漁師さんが持ち帰り番屋で食べる朝ごはんです。入れる種類が多いほどまいります。ある漁師さんが高級魚よりもよっぽどまい言っていたのが印象的でした。寒い日はこれであつたまりたいと思います



獲れたての魚で作る大漁鍋

## 今後の活動予定

■前回企画したイベント『サツマイモ掘りと新米で食べる田舎の駆走』では、七尾市や富山市などからの参加者23名も集まり、参加者からは大好評を戴きました。また、参加者にプレゼントした黄金千貫が、市内の小学校のお茶クラブのお茶菓子になり、マスコミにも取り上げられるという嬉しい広がりもありました。前回のイベントでの経験を活かしながら、次回、2月に床鍋地区の豪細工の文化継承をするためのワークショップ(作業体験)では、参加者や受入側の地域のおもてなし力をさらに高め、水見に残る大切な民芸品を次世代に残す仕組みづくりを地域の方々と一緒になつて考え、実行していく予定です。

(農業次産業化担当 稲垣)

■現在進めている中心市街地での空き家調査については、これまで各町内会長・自治振興委員の皆さんからお伺いした空き家情報を元に、各空き家物件の持ち主の方へ向けて意向アンケートを取り、空き家の活用へ向けたお願いをしていく予定です。また、比美町町内で一軒耐震改修を含めた町家の改修を行い、水見らしい住宅をいかに残していくかという取組を具体的に進めていきます。まちづくりバンクでの空き家についての相談にも、市職員の方達と連携しながら応えていきますので、なにかあればご連絡ください。

(まちづくり担当 山下)

■1月10日に行われる水見市成人式「新成人のつどい」にて映像演出をする機会をいただきました。ふれあいスポーツセンターマイソニアーナの構造を活かした作品を上映する予定です。新成人の皆様の晴れ舞台を存分に祝福できるよう、全力を尽くす覚悟でまいります。また宮田小学校100周年記念事業にて、過去に撮影された8mmフィルムやスライドプロジェクターなどの貴重な記録を活用し地域住民の方にも楽しんでいただけるような企画を現在検討中です。今後も様々な形で映像をご披露する機会があると思いますので、何卒宜しくお願い致します。(漁業文化発信担当 奮石)

本年もよろしくお願いいたします

